



## 通信プラットフォーム研究会資料

2008年6月5日  
株式会社ACCESS  
社長室  
清水郷太

## あらゆる機器を、ネットにつなぐこと

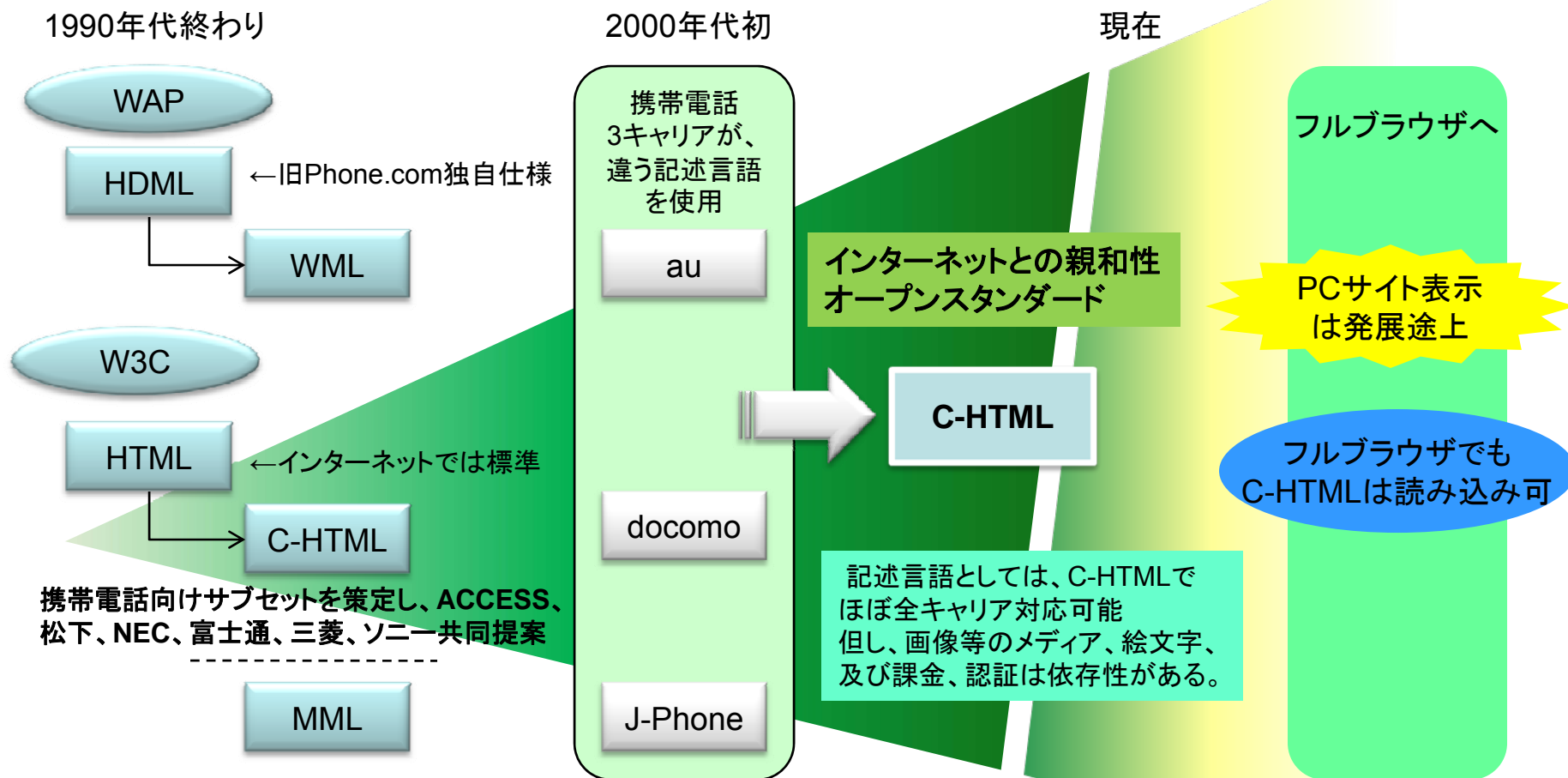
### ■ Ubiquitous Web 時代の幕開け

- あらゆる機器がネットにつながる時代の到来
- ACCESS は、この分野を先進技術でリードし、市場を立ち上げる
- グローバル企業を目指し、世界のデファクトを狙う



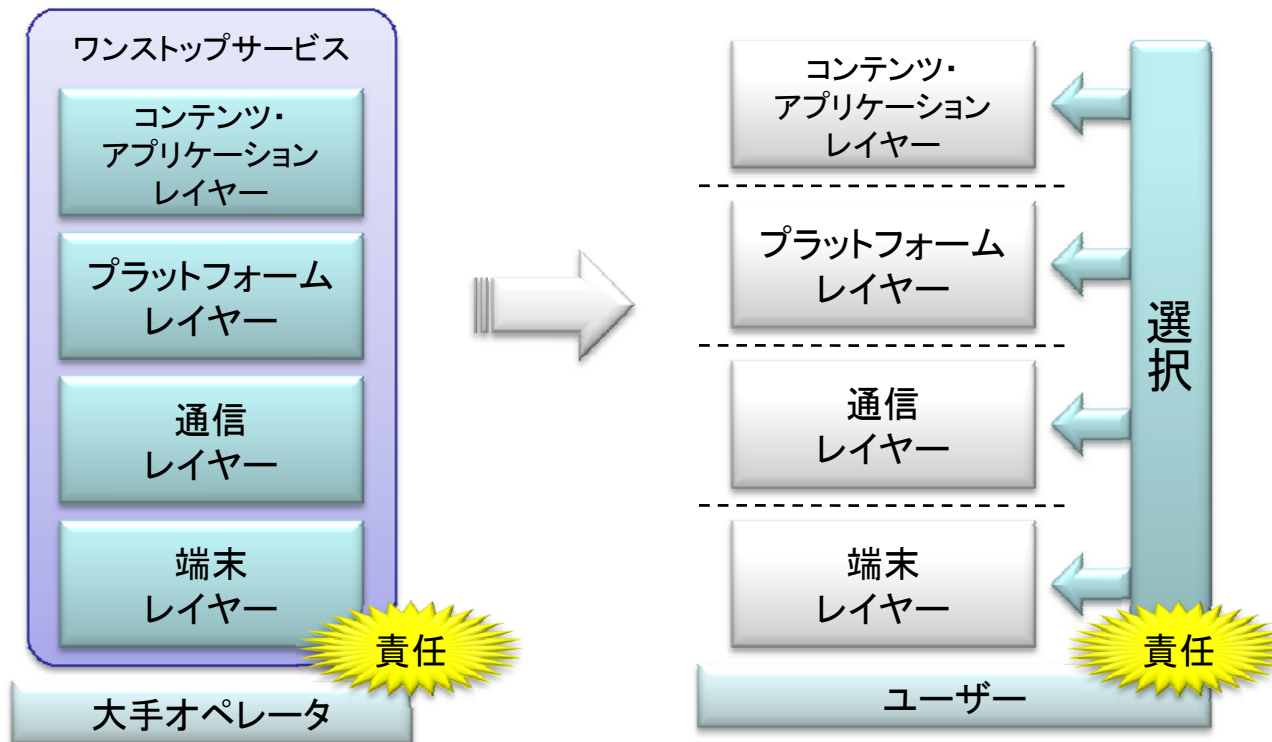


# ケータイコンテンツ記述言語の標準化の流れ



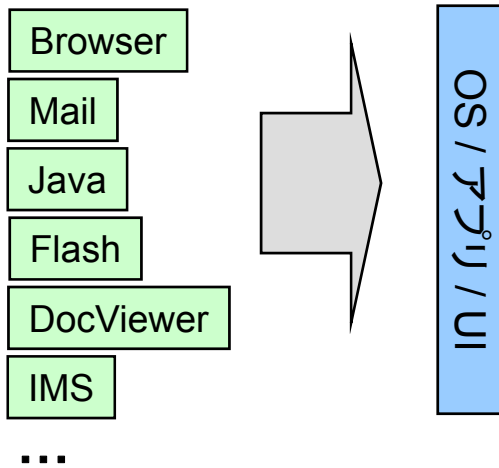
- ・1990年代終わり、通信速度、端末能力、画面制約によりPCと同等のブラウザ搭載が困難であり、その中で、複数の記述言語が発生したが、インターネットとの親和性から現在は、C-HTMLが主流になった。
- ・上記過程で、オペレータのワンストップサービスにより、日本のケータイコンテンツは、世界的に先駆けたものとなったが、通信速度、端末能力が向上し、オープンなインターネットが利用できる環境が揃いつつある中で、同様のスタイルが良いかは議論が必要

プラットフォームのオープン化に向けた議論では、  
選択と責任については、明確にしておく必要があると考える。

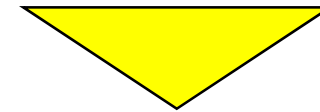


パソコンと同等の環境になった場合、ユーザーが責任を持つか  
各プレイヤーがどのようなスタイルで責任を持つか検討が必要

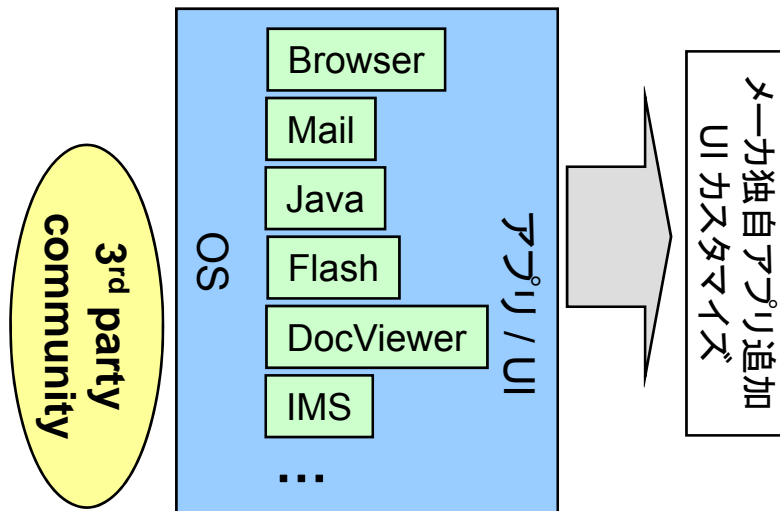
## ○ これまでの開発スタイル



3rd party コンポーネントをメーカー側が取り込む。  
メーカー側の統合作業が大変。組み合わせの数が指数関数的に増大。  
開発コスト増大 → ペイしない状態。



## ○ Software Platform が必要

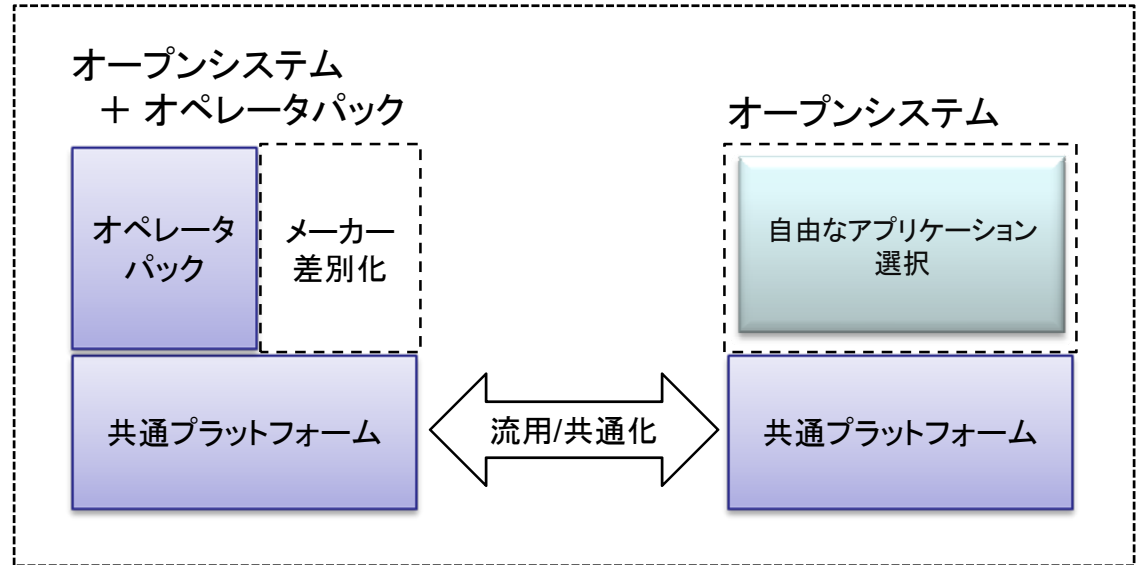
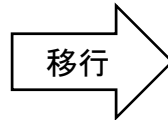
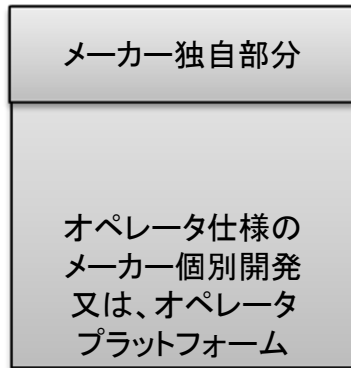


メーカーは、統合された Platform を利用することで開発コストを減らし、開発期間を圧縮。メーカーは本来フォーカスすべきところに資源を集中。

### Platform の条件:

- ・Modern OS ベース。
- ・アプリ、ミドルもある程度そろっている。
- ・SDK, 3rd party の取り込み(Open OS)。

## オペレータ垂直統合型



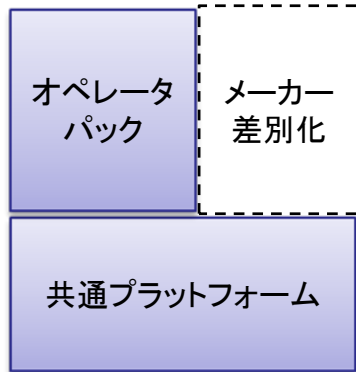
オペレータスペック搭載に向けた開発費が増大し、維持が困難に。

共通プラットフォームとオペレータスペックをセットにすることで、メーカーは差別化部分に注力し、開発コストの削減が可能となる。

グローバルで共通的に利用可能なプラットフォームを流用することでメーカーは海外展開が容易になる。

# プラットフォームの選択と責任(2)

オープンシステム  
+ オペレータパック



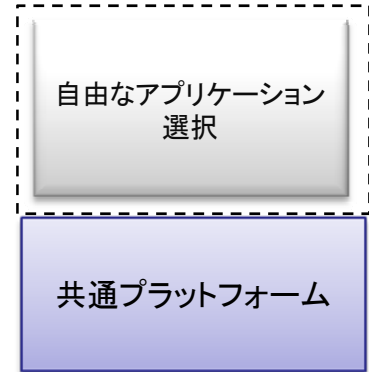
これまでと同様に、「安全・安心・簡単・便利」が、パッケージで提供されるモデル

提供者が保証をする



これ自体をユーザーにより  
選択可能であることが重要

オープンシステム



ユーザーが、自由にソフトウェアを選択して搭載することができるモデル

ユーザーが責任を持つ

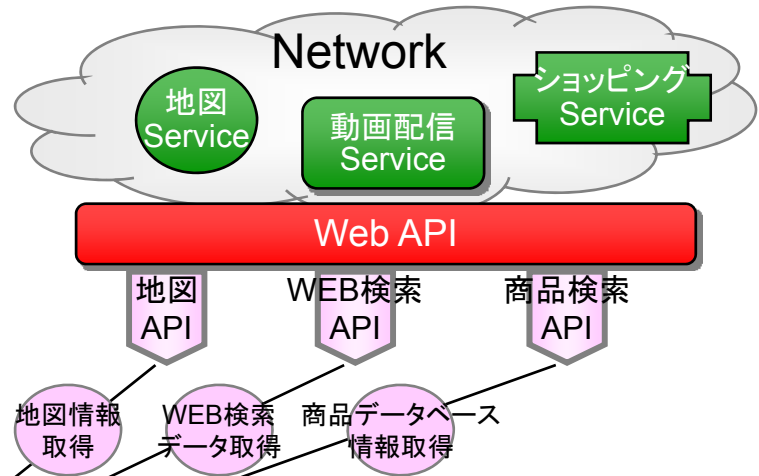


- 全体としては、オープンスタンダードなものを目指すべき。
- ユーザーの多様性から下記2つのモデルは選択可能とすべき。
  - ◆自由なアプリを選択できるモデル
  - ◆安全・安心・簡単・便利をパッケージにしたモデル
- 共通プラットフォームとして
  - ◆共通APIによる個別サービスが接続可能となる機能の提供
  - ◆プラットフォームの利用における適正な費用負担
- 競争を促進する機能提供の実現
  - ◆ベンダーは独自の付加価値の開発が可能

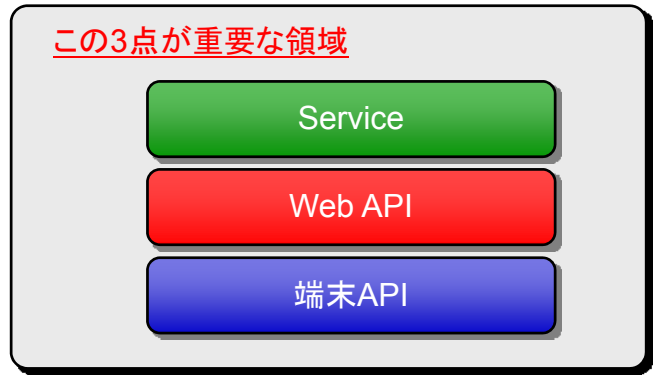
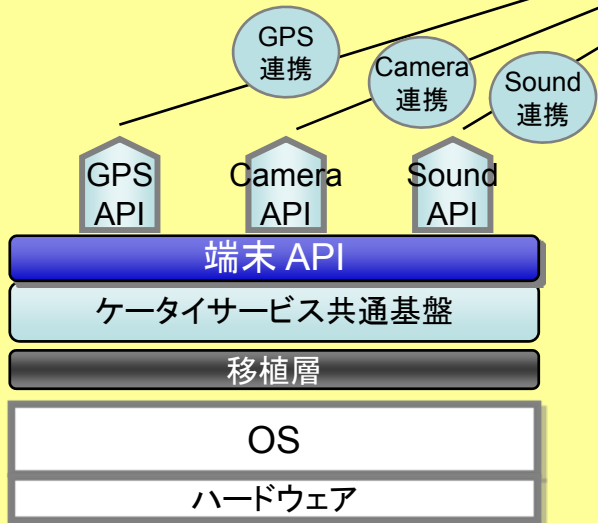
# 参考: ケータイブラウザ/ウィジェットにおける Web APIと端末APIの位置づけ



今後のケータイサービスの  
キラーアプリになりうる可能性



ケータイ端末内イメージ



Web APIと端末APIを利用することで、  
Webサービスと端末機能のMashupが可能となる。



*ACCESS is  
mobilizing  
high quality  
communication  
and entertainment  
for connected  
users around  
the world.*

ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、日本国、米国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。

Adobe、Flashは、Adobe Systems Incorporated(アドビ システムズ社)の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。

EZ チャンネルは、KDDI株式会社の商標または登録商標です。

FOMA、i-modelは株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモの商標または登録商標です。

Javaおよび全てのJava関連の商標およびロゴは、米国Sun Microsystems, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

その他、文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。